

## エンジン調整

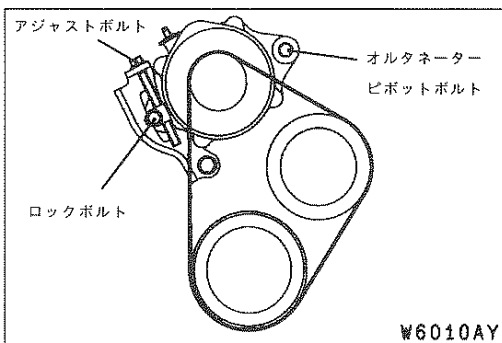
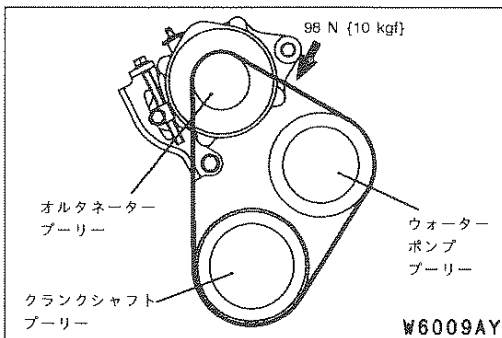
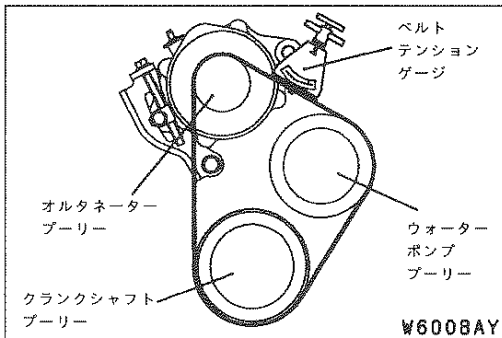
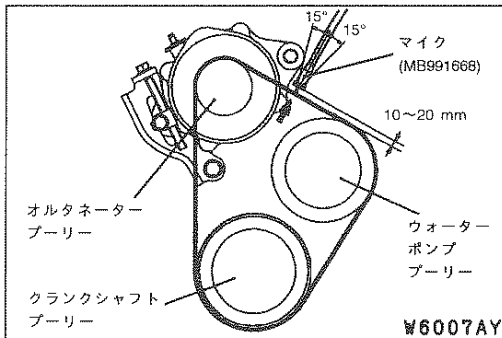
## 1. ドライブベルト類の張り点検、調整

## 1-1 オルタネータードライブベルトの張り点検、調整

(1) 次の要領でドライブベルトの張り点検を行う。

標準値：

項目	点検時	調整時	交換時
振動周波数Hz	230~325	257~304	324~397
張力 N {kgf}	196~392 {20~40}	245~343 {25~35}	392~588 {40~60}
たわみ量 mm	7.3~10.5	8.0~9.6	5.2~7.3
<参考値>			



## &lt;MUT-II使用時&gt;

- 1) MUT-IIに特殊工具 (MB991668) を接続する。
- 2) イグニションスイッチをLOCK(OFF)位置にした後、ダイアグノシスコネクターにMUT-IIを接続する。
- 3) イグニションスイッチをONにして、MUT-IIのメニュー画面で“ベルト張力測定”を選択する。
- 4) マイクを図に示すプーリー間の中央部 (矢印部) 背面から 10~20 mm離して、ベルトに対して垂直 (傾き±15°以内程度) に保持する。
- 5) 図に示すプーリー間の中央部 (矢印部) を指先で軽く弾き、ベルトの振動周波数が標準値にあるか点検する。

## 注意

- 1) ベルトの表面温度が常温に近い状態で測定する。
- 2) マイクに水、油等が付かないようにする。
- 3) 測定時、マイクに強風が当たったり、近くで騒音が発せられると、実際と異なる値を表示する場合がある。
- 4) マイクがベルトに接触した状態で測定すると、実際と異なる値を表示する場合がある。
- 5) エンジン運転中に測定しないこと。

## &lt;張力計使用時&gt;

ベルトテンションゲージを使用してベルトの張力が標準値にあるか点検する。

## &lt;たわみ量点検&gt;

図に示すプーリー間の中央部 (矢印部) に98 N {10 kgf} の押力を加えてたわみ量が標準値にあるか点検する。

(2) 標準値を外れている場合は、次の要領で張り調整を行う。

- 1) オルタネーターピボットボルト及びロックボルトを緩める。
- 2) アジャストボルトで、ベルトの張りを調整する。
- 3) オルタネーターピボットボルトを締付ける。  
締付けトルク:  $22 \pm 4 \text{ N}\cdot\text{m}$  { $2.2 \pm 0.4 \text{ kgf}\cdot\text{m}$ }
- 4) ロックボルトを締付ける。  
締付けトルク:  $5 \pm 1 \text{ N}\cdot\text{m}$  { $0.5 \pm 0.1 \text{ kgf}\cdot\text{m}$ }
- 5) アジャストボルトを締付ける。  
締付けトルク:  $24 \pm 4 \text{ N}\cdot\text{m}$  { $2.4 \pm 0.4 \text{ kgf}\cdot\text{m}$ }